

吹田市立佐井寺小学校
指導者 和志武玲子

1. 日 時 平成 30 年 11 月 15 日（木） 6 時間目 14:20~15:05
2. 学年・組 第 5 学年 1 組 36 名（男子 21 名 女子 15 名）
3. 場 所 英語教室
4. 単 元 名 「クイズ！この先生は誰だ？！」
5. 単元目標

- ・ できることやできないことを表す表現を使って、自分のことや第三者（校内の先生）のことを伝え合おうとしている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・ 自分や第三者（校内の先生）について、できることやできないことを紹介し合う。
【音声や表現への慣れ親しみ】
- ・ 相手や第三者（校内の先生）のできることやできないことを尋ねたり、尋ねられて答えたりする。
【音声や表現への慣れ親しみ】
- ・ 第三者を表す表現（He/She）があることに気付く。
【言語や文化に対する理解や気づき】

（参考：新学習指導要領での目標）

- ・ 自分や第三者について、できることやできないことを聞いたり言ったりすることができる。（知識・技能）
- ・ 自分や第三者について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝え合う。（思考力、判断力、表現力）
- ・ 他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどをクイズにして紹介し合おうとする。（学びに向かう力、人間性）

6. 評価の観点

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	音声や表現への慣れ親しみ	言語や文化に対する 理解や気づき
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や第三者（校内の先生）のできることやできないことを伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分や第三者（校内の先生）について、できることやできないことを紹介している。 ・ 相手や第三者（校内の先生）のできることやできないことを尋ねたり、尋ねられて答えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者を表す表現（He/She）があることに気付いている。

7. 指導にあたって

【児童観】

本学級の児童は、新しいことを知ることに関心があり、外国語の授業においても様々な発見を楽しんでいる。自分の考えを伝えることにしても、ペアやグループという少人数の場では恥ずかしがらずにできる。しかし、クラス全体の前で発言することに対しては、よほど自信がない限り躊躇してしまう児童も多くいる。

外国語活動に関しては、1学期は“Hi, friends①”を中心に学習してきた。週1～2時間の学習の中で、たくさんの英語表現に触れ、自分のことを話したり、友達のことを聞いたる活動を楽しんでいる。また、AETや担任の話す英語が全て理解できなくても、ジェスチャーや聞いたことのある単語を拾って、なんとか理解しようとする姿も見られる。

【教材観】

本単元は、自分や友達のできることやできないことをお互いに伝え合うだけではなく、第三者のできることやできないことを紹介する内容である。つまり、これまでの外国語学習では「自分」と「あなた」の一人称・二人称の世界であったのが、本単元で初めて「彼/彼女」という三人称に出会う。しかし、canを使った表現にとどめられているので、動詞の形は変わらず、これまでの“I/You”を“He/She”に置き換えるだけで第三者のことを表すことができる。このことから、児童が混乱することはあまりないと考える。しかし、たったそれだけのことで、児童が表現する世界が広がる。

また、取り上げる第三者として、校内の教師を設定した。これまではクラスの中で英語を使うだけであったが、今回は教室を飛び出して英語を使うことになる。これまで以上に「伝えること」を意識でき、また、「伝わった」喜びを感じることができる。そして、これまで担任をしてもらった先生や、委員会やクラブ、運動会の係などで関わった先生にインタビューに行き、聞いたことをもとに「この先生は誰でしょう？」とクイズをすることで、単に紹介を聞くより、興味をもって活動できると考える。

【指導観】

本単元では、自分のできることやできないことを表現するところからスタートする。次に、相手のできることを尋ねる表現を学ぶ。その後、第三者について、できることを聞き取ったり尋ねたりし、単元の最後には、校内の先生のことを紹介するクイズを出す、という流れで授業を進める。段階を追って表現の幅を広げていく。

初めて三人称“He/She”と出会う場面では、単に意味を伝えるのではなく、たくさんの例文を聞かせながら、児童が自分で「Heは男の人を表すのだな。Sheは女の人のことなのだな。」と理解できるようにする。

また、たくさんの動作を表す語彙を扱うが、児童が自分のできることを紹介したり、先生のできることを尋ねに行ったりする際には、授業で扱わない表現が出てくる可能性も考

えられる。その時は、児童本人には適切な表現を伝えるが、その表現を知らない他の人が理解できるような伝え方を考えさせる。また、難しい表現だけでなく、当然聞いてわかるであろうと思われるものに関しても、より伝わる工夫を考えさせたい。

そして、会話の際にはアクティブリスニングを取り入れ、相手が言ったことを必要に応じて主語を変えてリピートさせる。そうすることで、話し手は自分の言ったことが伝わっているかどうか分かり、聞き手は自分の理解が正しいかどうかを確認することができる。

本単元を通して、英語を使って自分のことを伝えられる喜びや相手のことが分かる嬉しさを感じてもらいたい。さらには、自分たちが話しているその場にはいない第三者についても紹介することができる世界の広がりを楽しんでほしい。

8. 指導計画（全8時間）

時	学習内容	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を知る。 (表現)I can/can't ~.	<ul style="list-style-type: none"> 自分ができること、できないことを表す表現を聞いたり言ったりしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 動作を表す語や「できる」「できない」という表現を聞いたり言ったりする。 (表現)I can/can't ~. You can/can't ~.	<ul style="list-style-type: none"> できる、できないという表現を聞いている。 自分や相手ができることを聞いたり言ったりしている。
3	<ul style="list-style-type: none"> できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、できるかどうか尋ねたりする。 (表現)Can you ~? Yes, I can. No, I can't.	<ul style="list-style-type: none"> できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。 できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取っている。
4	<ul style="list-style-type: none"> できるかどうかを尋ねたり答えたりするとともに、短い話を聞いて具体的な情報を聞き取る。 インタビューする先生を決め、準備をする。 (表現)Can you ~? Yes, I can. No, I can't.	<ul style="list-style-type: none"> できることやできないことを含む短い話を聞いて、具体的な情報を聞き取って誌面に記入している。 できるかどうかを尋ねたり答えたりしている。
5 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> 第三者の表し方を知る。 第三者について、できることやできないことを聞き取る。 (表現)He/She can/can't ~.	<ul style="list-style-type: none"> 第三者の表し方を知り、できることやできないことを聞き取っている。

6	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者について、できることやできないことを尋ねたり答えたりする。 ・インタビューする先生ができることやできないことを予想する。 (表現)Can he/she ~? Yes, he/she can. No, he/she can't.	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者について、できることやできないことを尋ねたり答えたりしている。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ある人物について、できることやできないことを含めて紹介する。 ・インタビューの結果を整理し、クイズの準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分やある人物について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝えている。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・「クイズ！この先生は誰だ?!」をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮しながら、先生のできることやできないことを、自分の考えも含めて紹介している。

9. 言語材料

【動作】 play baseball/soccer/volleyball/kendama/table tennis, do kendo/judo
play the recorder/the piano, ride a bicycle/unicycle, swim, skate, ski
cook, dance, run fast, jump high, sing well

【表現】 Can you (sing well)?

Yes, I can. /No, I can't.

I/You/He/She can/can't (sing well).

10. 本時の目標

- ・第三者の表し方（He/She）を知り、できることやできないことを聞き取る。

11. 本時の展開

時間	児童の活動	HRTの活動 評価
2分	1. Greeting Let's study English. Hello, Ms.Washitake. How are you? (HRTに聞かれて) I'm ~. What is the date? What day is it? How is the weather?	Hello, everyone. I'm ~. How are you? <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">あいさつ係がクラス のみんなに聞く。</div>

2 分	<p>2. 前時を振り返り、本時のめあてを知る。</p> <p>前時に学んだことを思い出す。</p> <p>→できるかどうかを尋ねたり答えたりした。</p>	<p>What did we study last time?</p>
5 分	<p>2. Small Talk</p> <p>HRT の話を聞き、何の話をしているのかつかむ。</p>	<p>【好きな有名人】</p> <p>Today, I have a picture of one of the most famous music groups in Japan. (シルエット画像を見せる。)</p> <p>Who are they? (出てきた名前は繰り返すが、正解は言わない。)</p> <p>There are 4 people.</p> <p>He can sing very well.</p> <p>He can play the guitar very well.</p> <p>He can DJ.</p> <p>She can play the piano very well!</p> <p>She can play the accordion too.</p> <p>Can you play the piano? (数名に尋ねる)</p> <p>Who are they?</p> <p>The answer is.....(写真を見せながら) SEKAI NO OWARI!</p> <p>Who likes SEKAI NO OWARI?</p>
10 分	<p>3. 【Let's Watch and Think2】</p> <p>(P.38)</p> <p>動画を視聴し、分かったことを誌面に記入する。</p>	<p>前時の続きで視聴するが、前時より長めであることを知らせる。(「通し視聴」) 2度、止めずに視聴させる。</p> <p>記入する際は、日本語でもよいことを伝える。</p> <div data-bbox="182 1367 1216 1576" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>Hello! My name is Satoshi.</p> <p>My friend, John is from Australia. He can swim fast and he can play kendama. He can't cook. He can't play the piano.</p> <p>My friend, Christina is from Philippines. She can ride a unicycle. She can cook. She can cook curry and rice. She can't sing well.</p> </div> <p>答えを確認する。</p> <p>書いたことをやり取りしながら確認し、動画も止めながら、再度視聴させる。</p> <p>John is from...? He can? He can't ...?</p> <p>Christina is from....? She can ...? She can't ...?</p>

10 分	<p>4. 第三者の表し方を知る。</p> <p>HRT の話を聞いたり、質問に答えたりして、he/she の使い方を理解するとともに、I, you との違いを理解する。</p>	<p>校内の先生(クイズにする先生以外)のできること、できないことについて紹介する。紹介しながら顔写真を男性・女性に分けてホワイトボードに貼っていく。</p> <p>This is Mr. He can ~. This is Ms. She can ~.</p> <p>さらに数名の先生の写真を見せ、he か she かを尋ね、違いを理解させる。</p> <p>I, You との違いをおさえるために、児童にできるかどうかを尋ねる。</p> <p>Can you ~? You can/can't ~.</p> <p>◎第三者の表し方に気付いている。(振り返りカード)</p>
7 分	<p>5. これは誰でしょう？クイズ</p> <p>HRT が紹介する内容を聞き、それが誰か(キャラクター・有名人)を予想して答える。</p>	<p>キャラクターや有名人ができることやできないことを紹介し、誰のことがを考えさせる。</p> <p>【ルフィ】</p> <p>He can't swim in the sea. He can punch very hard. He can jump very high.</p> <p>【アンパンマン】</p> <p>He can fly. He can give his head. He can't do anything when his head is wet.</p> <p>【しずかちゃん】</p> <p>She can play the piano well. She can't play the violin very well.</p> <p>【ジャイアン】</p> <p>He can play baseball. He can sing, but he can't sing very well.</p>

		<p>【大坂なおみ】</p> <p>She can speak English.</p> <p>She can speak Japanese, but she can't speak Japanese very well.</p> <p>She can play tennis very well.</p> <p>答え合わせの際は、再度 he/she を使ってできることやできないことを話す。</p> <p>◎第三者について、できることやできないことを聞き取っている。(振り返りカード)</p>
5分	<p>6. 【Let's Chant】 (P.35)</p> <p>Can you sing well?</p> <p>チャンツを言う。</p>	<div>デジタル教材 [オプション④] (ゆっくりで)</div> <p>ゆっくりのスピードで言えるところを言わせる。</p>
5分	<p>7. ふりかえり</p> <p>振り返りカードに、今日できたことや発見したこと、難しかったことなどを記入する。</p>	<p>数名の児童に発表させる。</p> <p>今日の授業で頑張ったことを評価する。</p>
1分	<p>8. あいさつ</p> <p>That's all for today.</p>	